

令和 7 年度 事業報告 (案)

愛媛県地域公共交通計画に記載する事業の実施に関して必要な協議を行うとともに、南予南部地域において地域自らがデザインする地域公共交通の実現に向けた各種実証事業を実施した。

1 運営に関する事業 (217,566 円)

愛媛県地域公共交通計画に位置付けた事業及び地域公共交通の維持、確保、再編に係る事項を協議するため、協議会及び部会を開催した。

(1) 愛媛県地域公共交通網再編協議会

第 1 回 令和 7 年 6 月 24 日 (国庫補助申請書類の審議、国交省の取組について)

第 2 回 令和 7 年 9 月 16 日 (書面開催：バス事業者のダイヤ変更)

第 3 回 令和 8 年 1 月 9 日 (書面開催：バス事業評価)

(2) 南予南部交通アクセス向上検討会

第 1 回 令和 7 年 7 月 28 日 (多様な関係者と地域の交通ニーズを検討)

第 2 回 令和 7 年 10 月 16 日 (R 7 事業についての意見交換)

第 3 回 令和 8 年 3 月 23 日 (R 8 事業に向けた意見交換)

2 南予南部共創型交通アクセス向上に関する事業 (12,450,005 円)

予土線沿線を含む南予南部地域において、医療、教育、福祉などの関係機関における移動ニーズを踏まえながら、新たな交通体系を当該機関等とともに「共創」し、地域自らがデザインする地域公共交通の実現を図るため、各種実証実験を実施した。

(1) 予土線・宇和島自動車路線バスにおけるモーダルミックスの実証実験 (1,895,305 円)

宇和島駅～松丸駅間を有効区間とする J R 又は路線バスの乗車券類で、他方の J R 又はバスを相互利用できるモーダルミックスの実証実験を、R 6 年度事業から拡充して行うことで、公共交通の利便性向上による利用促進効果を検証した。

(2) 予土線 W i - F i 設置の実証実験 (2,921,172 円)

J R 予土線の車内に W i - F i 環境を整え、乗客の利用率やアンケートにより利便性向上や利用促進の可能性を検証した。

(3) 電動シェアモビリティサービス導入の実証実験 (7,633,528 円)

南予南部の鉄道やバスの交通結節点等に、電動キックボード「L U U P」の貸出ポートを設置し、公共交通から観光地等までの二次交通を補完する実証実験を行い、予土線を含めた地域公共交通の利用促進策としての可能性を検証した。

実証事業① J R 予土線及び路線バスにおけるモーダルミックスの実証実験

背景

- ・公共交通サービスの総合連携による利便性向上を検証する。
- ・県民から意見のあったバス定期券で利用者の鉄道利用も可能とする双方向の実施し、オペレーションを確認。
- ・実証期間を8か月間にし、R6年度事業（10月～1月末）以外の期間の利用状況を確認。
- ・J R 四国「5か年推進計画2021～2025」総括検証内容にJ R 予土線の地域との連携施策の例として反映。

実施内容

- 実証期間 令和7年7月1日～令和8年2月28日
- 実施方法 鉄道定期・乗車券類及びバス定期券により鉄道及びバスの対象区間の利用を可能とする。
- 委託費 2,789,865円※予算ベース（J R 四国に委託）
- 対象区間 J R 予土線（宇和島駅～松丸駅区間）
宇和島自動車（虹の森公園線 宇和島駅前～虹の森公園前）
（日吉野村線 宇和島駅前～出目）
※乗降可能バス停は宇和島駅前～虹の森公園前・出目間、全ての停留所
※調査票への記入を条件とすることで利用時間、OD、自由意見等取得



実績

R 7 年度事業実績 利用者延べ鉄道定期→バス利用（2月末）2,905人
（松丸方面1,216人、宇和島方面1,689人）**12.3人/日**
バス定期→鉄道利用（2月末）665人 2.7人/日
（参考）R 6 年度事業実績
利用者延べ1,443人（松丸方面539人、宇和島方面904人）**12.1人/日**
実証期間：令和6年10月5日～令和7年1月31日、委託費：934,150円（J R 四国に委託）

今後の課題

- ・R 8 年度に沿線市町主体で事業を実施しながら事業結果を踏まえ、持続可能な制度のあり方等、R 9 年度以降の継続的な事業実施の可否について協議継続

1

実証事業② JR予土線Wi-Fi設置の実証実験

背景

- ・R 5 年度の公共交通計画策定時に実施した高校生アンケートにより、公共交通利用増加のアイデアとして最も意見の多かったフリーWi-Fiの設置について予土線で実施。
- ・J R 四国車両直接設置については、同社の工事対応状況もあり不可であったため、可搬式のWi-Fi設置機器導入での実施についてJ R 四国と調整し、機器の搬出・搬入、充電についてジェイアール四国メンテナンスに作業を委託。
- ・J R 四国「5か年推進計画2021～2025」総括検証内容にJR予土線の地域との連携施策の例として反映。

実施内容

- 実証期間：令和7年9月1日～令和7年11月30日
- 委託費：2,701,058円（株式会社ジェイアール四国メンテナンスに委託）
内Wi-Fi機器レンタル費2,046,000円（税込）作業・管理費657,731円（税込）
- 設置車両：4818D（宇和島11:27発～江川崎 最終宇和島21:49着）
8816D（宇和島0:34発～窪川12:11着 最終宇和島16:08着）
4820D（宇和島13:27発～窪川15:34着 最終宇和島20:07着）
※海洋堂ホビートレイン



実績

- 利用者数延べ12,592人（138.3人/日）（うち新規利用者数934人、10.2人/日）目標20人/日
- アンケート結果抜粋
年齢別利用率（10～18歳39%、19～35歳22%、36～65歳29%、65歳以上9%、10歳未満1%）
乗車目的（観光51%、通学31%、通期3%、通院約1%、買い物約3%、その他11%）

今後の課題

- ・利用者は多く、観光面でのニーズが高いことが判明した。
- ・車両への取り付けが必須となるため、今後の利用促進策として事業者へ情報共有。

2

実証事業③電動シェアモビリティサービス導入の実証実験

背景

南予南部の鉄道やバスの交通結節点等に、電動キックボード「LUUP」の貸出ポートを設置し、公共交通から観光地等までの二次交通を補完する実証実験を行い、予土線を含めた地域公共交通の利用促進策としての可能性を検証する。（ＪＲ四国「５か年推進計画2021～2025」総括検証内容にJR予土線の地域との連携施策の例として反映。）

実施内容

- 実証期間：令和7年8月1日～令和7年11月30日
- 委託費：7,575,000円（内LUUP導入費用等3,890,000円※1台あたり30,000/月、初期導入費用800,000円他）
- 委託事業者：株式会社ジェイアール四国企画
- 設置ポート：宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町の5箇所（10月、11月のみ6か所）
- 設置箇所、台数：ＪＲ宇和島駅前、宇和島市観光情報センターシロシタ、ＪＲ松丸駅前、コワーキングスペースwarmth（ＪＲ近永駅付近）、きさいや広場（10月、11月のみ）南レク御荘公園内Umidas（宇和島バス南レク御荘公園前付近）22台（10月、11月のみ24台）



実績

- ・利用者数延べ346回（稼働率12%、実績2.8人/日、目標：約10人/日）
- ・年齢別利用率（10代7%、20代39%、30代14%、40代29%、50代43%、60代5%）
- 【アンケート結果（回答数21）】
- 居住地（中予38%、南予33%、県外29%）
- 利用目的（観光48%、帰省5%、出張24%、体験5%、地元19%）
- 交通手段 南予エリアまでの交通手段（ＪＲ列車33%、南予在住33%、自家用車33%）
- 南予エリア内での交通手段（ＪＲ列車10%、バス10%、自家用車43%、徒歩38%）
- その他意見抜粋/三間道の駅にもあればうれしい/愛媛県のような道路状態が良くない
- 田舎には向かない/南予の駅周辺に設定され認知されたら需要はあると思います。

ポート別実績一覧(令和7年8月～11月累計)			
設置場所	設置台数	累計利用回数	期間平均稼働率(%)
JR宇和島駅	5台	132回	22%
シロシタ	5台	64回	10%
きさいや広場(10月、11月)	2台	15回	12%
コワーキングスペースwarmth	4台	32回	7%
JR松丸駅	4台	71回	15%
Umidas	4台	32回	7%

今後の課題

交通結節点への新モビリティ導入には、乗り捨て可能となる拠点数の増加が必要。また、段差など路面状態が悪い道路の走行には不向き。

令和 7 年 度 収 支 決 算 (案)

収 入 額	15,199,020	円
支 出 額	12,667,571	円
差 引 額	2,531,449	円

(1) 収入の部

(単位:円)

	予算額	決算額	差引増減	備 考
負担金	7,808,000	7,808,000	0	県からの負担金
補助金	6,619,000	6,056,708	△ 562,292	国庫補助金 (R8.4.22受入)
その他収入	1,000	12,601	11,601	預金利息
繰越金	1,321,711	1,321,711	0	前年度からの繰越金
小計	15,749,711	15,199,020	△ 550,691	

(2) 支出の部

(単位:円)

	予算額	決算額	差引増減	備 考
会議費	1,103,000	212,466	890,534	会議謝金・旅費、 会場使用料
事務費	68,000	5,100	62,900	振込手数料、 物品購入費
計画策定事業費	13,256,000	12,237,155	1,018,845	事業実施経費
予備費	1,322,711	212,850	1,109,861	事業実施経費
小計	15,749,711	12,667,571	3,082,140	

令和 8 年度事業計画（案）

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号。以下「法」という。）第 5 条第 1 項の規定に基づく愛媛県地域公共交通計画に関して、必要な協議及び調査事業を実施する。

1 運営に関する事業（624 千円）

愛媛県地域公共交通計画に位置付けた各種事業を着実に実行するため、及び事業の実施状況の把握・評価等を行うため、協議会を開催する。

2 南予南部共創型交通アクセス向上に関する事業（11,490 千円）

予土線沿線を含む南予南部地域において、医療、教育、福祉などの関係機関における移動ニーズもふまえながら、新たな交通体系を当該機関等とともに「共創」し、地域自らがデザインする地域公共交通の実現を図る。

（1）南予南部交通アクセス向上検討会の開催（119 千円）

国、市町、交通事業者だけでなく、医療機関や教育機関、福祉団体等も参画する検討会を開催し、利用者目線で地域公共交通のアクセス向上を検討する。

（2）公共交通マップの提供による利用促進効果の検証（11,371 千円）

J R 予土線沿線を中心とする高齢者及び中学生を対象に、それぞれに合った公共交通マップ等を通じて様々な情報を提供し、予土線の利用促進効果などを検証する。

3 予備費（2,624 千円）

次期交通計画の策定を見据えて、公共交通の乗降データ、人流データ等、有用と見込まれる調査等の事業を検討する。

7 南予南部共創型交通アクセス向上事業費

予土線沿線を含む南予南部地域において、医療、教育、福祉などの関係機関における移動ニーズも踏まえながら新たな交通体系を当該機関等とともに共創し、地域自らがデザインする地域公共交通を実現する。

お問い合わせ先
企画振興部政策企画局
地域政策課交通政策室
(089-912-2251)

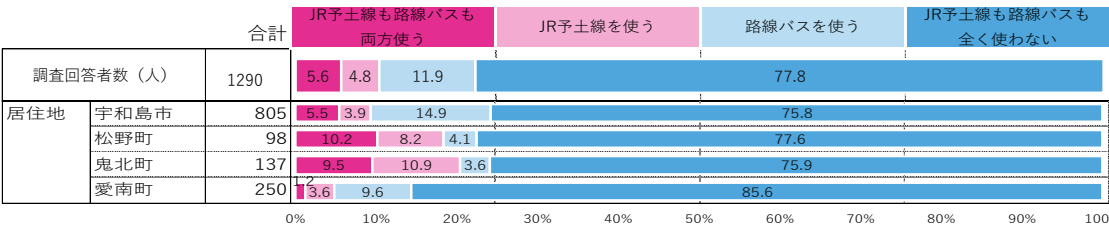
指標	施策	25 暮らしを支える地域交通の維持と基盤整備 KGI 県内の主な公共交通機関の年間輸送人員（鉄軌道、一般旅客自動車）	現状値	34,504千人（R5年度）
			目標値	40,656千人（R8年度）
	細施策	25-1 県内公共交通の安定確保 KGI 県内の主な公共交通機関の年間輸送人員（鉄軌道、一般旅客自動車）	現状値	34,504千人（R5年度）
			目標値	40,656千人（R8年度）

事業イメージ	KPI 日常的な外出での移動手段が公共交通である 県民（南予地域）の割合 （県内全域の割合と同値を目指す）	現状値	11.6%（R6年度）
		目標値	13.8%（R8年度）

【南予南部地域の現状】

- 人口減少、高齢化、過疎化、自家用車の普及→公共交通機関の利用減
- 幹線であるJR予土線→国が想定するローカル鉄道再構築協議会制度の候補路線
- 18歳以上の住民の約80%が地域公共交通を利用していない現状
- 幹線と二次交通のアクセス強化のため、利用者目線のニーズ把握と多様な主体の連携による利用促進・利便性向上が必要

R6「愛媛県南予南部地域公共交通住民ニーズ調査」結果より抜粋



【令和 8 年度】

南予南部交通アクセス向上検討会

（県地域公共交通網再編協議会の部会として実施）

【公共交通マップ提供による利用促進効果検証事業】

免許返納後の高齢者向け、中学生向けの公共交通マップ等による情報提供の利用促進効果について検証。

【令和 9 年度以降】

愛媛県地域公共交通網再編協議会

他地域での施策検討

これまでの検証結果の情報共有

地域自らがデザインする公共交通の実現

事業概要

※愛媛県地域公共交通網再編協議会として実施

総事業費：11,490千円(県：5,896千円 国：5,594千円)

1 南予南部交通アクセス向上検討会の開催

事業費119千円（県119千円）

国関係機関や関係市町、交通事業者のほか、医療機関や教育機関、福祉団体等も参画する検討会を開催し、利用者目線で地域公共交通のアクセス向上を検討する。
参集範囲：四国運輸局、関係市町（宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町）、交通事業者、医療・教育・福祉など他分野の関係機関

開催回数：年 4 回程度

協議内容：移動ニーズの確認、他分野共創に向けた検討等

2 公共交通マップの提供による利用促進効果の検証

事業費11,371千円（県5,777千円 国5,594千円）

①南予南部地域における高齢者向け公共交通マップの作成と効果検証

免許返納後の公共交通利用を想定した高齢者向けに特化した公共交通マップを作成し、南予南部地域の60代後半から80代前半の住民に配布するとともに、情報提供や交通プラン作成による公共交通利用促進効果を検証する。

調査地域：宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町

調査対象：調査地域に居住する60代後半から80代前半の男女4,000人

②JR予土線沿線の中学生向け公共交通マップの作成と効果検証

進学、就職のための公共交通利用を想定したJR予土線沿線市町の中学生向けに特化した公共交通マップを作成及び配布するとともに、地域公共交通の認知度や利用意向についてアンケート調査を行う。

調査地域：宇和島市、松野町、鬼北町

調査対象：調査地域にある中学校の1年生から3年生の生徒（7校想定）

令和 8 年度 収 支 予 算 (案)

収 入 額 14,738 千円

支 出 額 14,738 千円

(1) 収入の部

(単位: 千円)

費目	予算額	前年度予算額	差引増減	備 考
負担金	6,520	7,808	△ 1,288	県からの負担金
補助金	5,685	6,619	△ 934	国庫補助
その他収入	1	1	0	預金利息
繰越金	2,531	1,322	1,209	前年度からの繰越金
合計	14,738	15,750	△ 1,012	

(2) 支出の部

(単位: 千円)

費目	内 訳	予算額	前年度予算額	差引増減	備 考
事務局費	会議費	647	1,103	△ 456	会場使用料、旅費、謝金 等
	事務費	96	68	28	消耗品費、振込手数料等
事業費	調査費等	11,371	13,256	△ 1,885	委託費 等
予備費		2,624	1,323	1,301	
合計		14,738	15,750	△ 1,012	